



**TOYOTA 超小型 EV へ車両保険 10%割引を適用
～社会課題解決に向けた新しい自動車の普及を保険面から支援～**

2020年12月28日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)が12月25日に発売した超小型EV「C+pod」を対象に、D&R(Damageability:壊れにくさ、Repairability:修理しやすさ)性能が優良な自動車向けの車両保険割引(「ドーン!とおまかせ」)を適用することをお知らせします。

1. 背景・概要

当社は、安全・安心なクルマ社会の実現へ向け、お客さまのクルマの維持費の低減、なかでもクルマ社会のコストセーブにつながる事故時の修理費の低減を目的に、「ドーン!とおまかせ※1」を提供しています。

「ドーン!とおまかせ」は、各自動車メーカーから耐損傷性・修理性の改善取組の申し出に基づき、株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所において衝突実験を行い、新型車のD&R性能を測定評価することにより、合理的な車両保険料を設定することができます。国内損害保険会社では、唯一、衝突実験設備を保有する強みを活かし、自動車メーカーに近い損害保険会社としての優位性を発揮して開発された商品で、ビジネスモデル特許も取得しています。

今般、トヨタが12月25日から発売した超小型EV「C+pod」に対し、D&R性能が優良な自動車と認定し、車両保険に対して10%割引を適用します。なお、EVへの「ドーン!とおまかせ」適用は初めてとなります。



※1 『ドーン!とおまかせ』は、「耐損傷性・修理性割引」のペットネームです。2000年9月発売の、自社衝突実験施設を活用した車両保険割引で、すべての当社代理店・扱者にてご利用いただけます。初度登録(検査)年月から始期日の属する年月までの期間が13か月以内であることを条件に割引が適用となります。

2. 今後の展開

当社では、上記のほか、「電動車活用社会推進協議会」や「水素バリューチェーン推進協議会」等への参画を進め、環境配慮に資する電動車の普及に向けた取り組みを進めています。また、クルマの走行データに基づき安全運転を保険料に反映するテレマティクス自動車保険や、地域の移動確保に向けて導入が進む電磁誘導線を活用した自動運転車(低速EV)向けの自動車保険割引などを業界に先駆けて提供しています。

当社は、今後もCASE※2に対応した商品・サービスの開発・提供により、環境対策や交通事故削減、地域交通課題といった社会課題の解決に資する取り組みを進め、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に貢献していきます。

※2 Connected(コネクティッド)・Autonomous(自動運転)・Shared/Service(シェア/サービス)・Electric(電動)の4つの頭文字をとった造語で自動車産業に大変革期をもたらすと言われるキーワード

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

